

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	人間看護専門学校
設置者名	学校法人人間平成学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
2年課程(定時制)	看護学科	夜・通信	46	9	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ・情報公開・教育課程に公表 https://i-heiseigakuen.ac.jp/kokai/kyouikukatei/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	人間看護専門学校
設置者名	学校法人人間平成学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上に公表 役員 https://i-heiseigakuen.ac.jp/kokai/yakuinn/	
--	--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医師	2023. 4. 19 ～ 2026. 4. 18	学術的指導
非常勤	医師	2023. 4. 19 ～ 2026. 4. 18	学術的指導
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	入間看護専門学校
設置者名	学校法人入間平成学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業の方法及び内容、科目目標、評価方法は専任教員が年度終わり(1月～3月)に、翌年度のカリキュラム会議を実施し、シラバスを新学期の始まりと同時に web にアップロードする。</p> <p>学科目の履修は1年次の科目から履修する。1年次に修得できない科目は、2年次の科目と並行して履修することができる。2年次までに修得できない科目は、3年次の科目と並行して履修することができる。評価方法は学則上に記述し、学生便覧として入学時に配布、ガイダンスで説明している。</p> <p>成績評価は規程に則り、各授業科目の担当教員が授業形態に応じ、筆記試験、課題レポート、発表、技術試験等を総合して判断する。</p> <p>科目修了試験(100点満点)、評価表による評価(100点満点)として、60点以上を単位認定する。</p>	
授業計画書の公表方法	シラバス https://i-heiseigakuen.ac.jp/kokai/sirabasu/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>当該科目の授業時間数の3分の2以上出席した者が評価対象となる。科目終了ごと、その他必要時に筆記試験や課題レポート等で総合的に評価し、科目ごとに評価を提示する。また、個人成績表は半期ごとに配布する。</p> <p>総合判定の結果、成績の表記はA、B、Cとし所定の単位を与える。</p> <p>A 100～80点 B 79～70点 C 69～60点</p> <p>評価が60点に達しない者には本人の願い出をもって再試験を実施する。</p> <p>試験当日の欠席は、病気など正当な理由がある場合は、追試験(採点は2割減)を実施する。</p> <p>試験に合格しなかった場合は翌年以降、再履修する。授業出席は免除され、試験のみを受ける。</p> <p>臨地実習の評価も学科目同様である。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の担当教員が授業形態に応じ、筆記試験、課題レポート、発表、技術試験等を総合して判断する。</p> <p>科目終了ごとに成績の入力、半期ごとに個人成績表の配布する。</p> <p>年度末に単位認定会議を経て、単位認定を行う。</p> <p>総合判定の結果、成績の表記はA、B、Cとし所定の単位を与える。</p> <p>A 100～80 点</p> <p>B 79～70 点</p> <p>C 69～60 点</p> <p>当該学年で履修すべき全教科の成績結果(100点満点)を合計し、平均点を算出する。</p> <p>学年ごとの成績分布をホームページに公表する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://i-heiseigakuen.ac.jp/kokai/gakusoku/ https://i-heiseigakuen.ac.jp/kokai/jikohyouka/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学習をもって構成することを標準とし、講義及び演習は、15時間から30時間をもって1単位、実験及び実技は、30時間から45時間をもって1単位、臨地実習は、30時間から45時間をもって1単位と定める。各授業科目を履修し、その試験に合格した者に対して単位を認定する。</p> <p>学則第3章教育課程及び単位認定に則り、第10条に定める68単位の修得をもって学則第31条により卒業認定会議を経て、卒業要件の認定を行う。</p> <p>卒業は3月とする。但し、卒業延期者のうち卒業要件を満たした者に対しては、9月とする。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学則・学習の評価及び卒業に関する規程 https://i-heiseigakuen.ac.jp/kokai/gakusoku/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	人間看護専門学校
設置者名	学校法人人間平成学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上に公表 財務諸表（決算資料） https://i-heiseigakuen.ac.jp/kokai/kessanssiryou/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ上に公表
財産目録	ホームページ上に公表
事業報告書	ホームページ上に公表
監事による監査報告（書）	ホームページ上に公表

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		2年課程（定時制）	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間 定時 制	68 単位時間/単位	49 /単位	3/単位	16 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	68単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		71人	0人	7人	41人	48人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）基礎分野8単位、専門基礎分野14単位、専門分野46単位 学則第10条 別表1教育課程、科目進捗表、教育課程の分野表に記載
成績評価の基準・方法 （概要）科目修了試験の実施（100点満点） 実習等評価表による（100点満点） 各教科目の3分の2以上の出席、科目修了試験60点以上を単位認定する。
卒業・進級の認定基準 （概要）1年次の修得単位26単位のうち、3分の2以上の修得を2年次の基礎看護学 実習の履修要件とする。 2年次の基礎看護学実習2単位の修得をもって3年生に進級する。 単位制と学年制の併用をしている。全科目68単位の修得をもって卒業となる。

学修支援等
(概要) 専任教員による学生担当制 1年生全員に対し1学期中に面接し、早期退学の防止、3年間を見通した学習計画の確認・相談する。その後は適宜面談 経済的支援に関しては奨学金制度を活用できるよう情報提供、受付窓口業務を引き受けている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28人 (100%)	0人 ()%	26人 (92.9%)	2人 (7.1%)
(主な就職、業界等) 病院、施設等 医療界 看護従事			
(就職指導内容) 求人情報の提供			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 専門士 看護師国家試験の受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73人	3人	4.1%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 適宜面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	100,000 円	240,000 円	600,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自己評価 https://i-heiseigakuen.ac.jp/kokai/jikohyouka/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校活動全般の以下の項目について評価をする。①教育理念・目的・人材育成像②学校運営③教育活動④学修成果④学生支援⑤教育環境⑥学生募集⑦財務⑧法令等の遵守⑨社会貢献・地域貢献 委員会は関連業界等関係者、卒業生、保護者から成り、2名以上5名以内(3年の任期) 学校関係者評価は自己評価書の結果を受けて、専門的、客観的立場から翌年度前期までに評価を行い、学校運営の改善を促す。その結果はホームページに公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
入間ハート病院	令和2年12月1日～ 令和5年11月30日	実習施設 看護部長 学生所属施設(保護者)
アイセイ訪問看護ステーション	令和2年12月1日～ 令和5年11月30日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自己評価 https://i-heiseigakuen.ac.jp/kokai/jikohyouka/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.i-heiseigakuen.ac.jp
--